

通し番号	3727
------	------

分類番号	12-24-16-02
------	-------------

(成果情報名) カボチャつる先に利用するマルチ麦の播種量および播種時期	
[要約] カボチャ栽培にマルチ麦を利用する場合、3月下旬から4月上旬に10aあたり3kgを播種すると適正な麦の生育が得られ、カボチャを遮光せず雑草の発生も抑制できた。	
(実施機関・部名) 三浦試験場	連絡先 0468-88-3385

[背景・ねらい]

環境に配慮した雑草管理法の一環として、ウリ科野菜つる先におけるマルチ麦の利用を推進するために、マルチ麦の最適播種量、播種時期および被覆植物として適する麦品種を検討した。

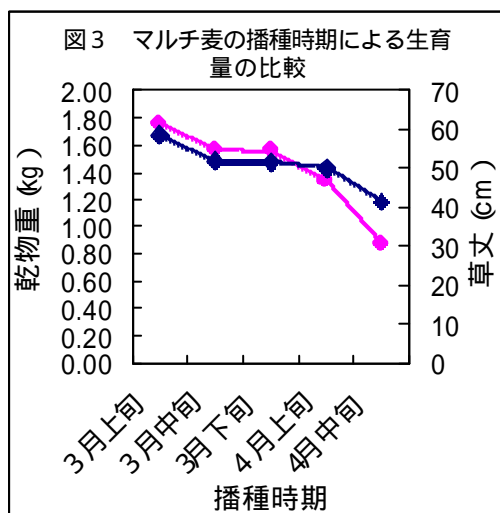
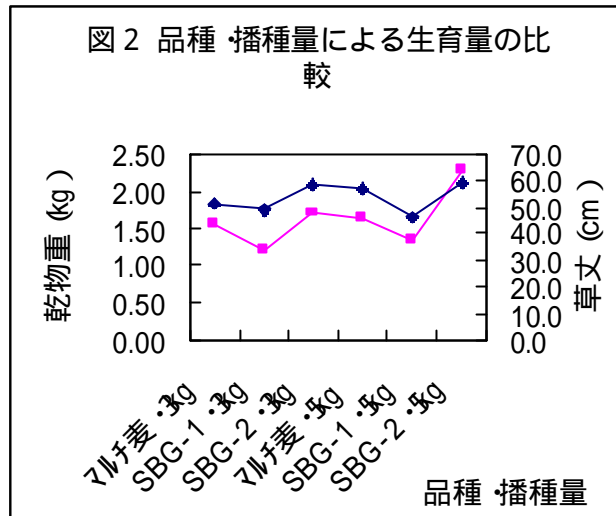
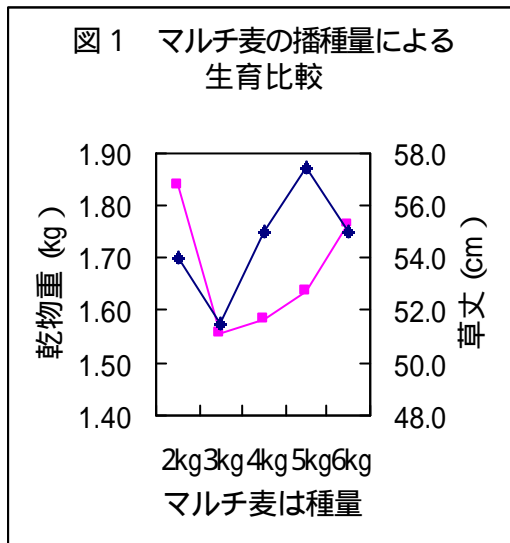
[成果の内容・特徴]

- (1) マルチ麦の播種量は、少ない場合は分けつが旺盛になりやすく、多い場合には徒長が進み草丈が伸びることから、3kg/10aを条播または散播するのが適量と考えられた(図1)。
- (2) 品種については、草丈が高すぎるとカボチャに陽が当たらなくなってしまい、低すぎると最終的に地表面を覆えないことから、「マルチムギ」が適当であり、次いで「SBG-2」が有望と思われた(図2)。
- (3) 播種時期については、早すぎると出穂しやすくなり次作以降での雑草化が心配される他、徒長を招き生育が旺盛となり、遅すぎると生育が抑制され雑草防除効果が低下することから、3月上旬から4月中旬に定植するカボチャでは、3月下旬から4月上旬がマルチ麦播種の適期と考えられた(図3)。

[成果の活用面・留意点]

播種量が多くなりすぎないように、特に散播の場合は注意する必要がある。

[具体的データ]



—— 乾物重

—— 草丈

[資料名] 平成12年度三浦試験場試験研究成績書 (No. 6)

[研究課題名] 農業用プラスチック代替資材の実用化

カボチャつる先でのマルチ麦の利用技術の確立 その1

[研究期間] 平成12年度

[研究者担当名] 室井義広